



「清流の国ぎふ」文化祭2024

ともに・つなぐ・みらいへ～清流文化の創造～



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位



令和6年6月25日（火） 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
清流の国ぎふ 文化祭推進課	事業推進係	浅川 耕至	内線 3176 直通 058-272-1971 FAX 058-278-2660

＜「清流の国ぎふ」文化祭2024＞

第10回文化リンクワーカー育成プログラム講座及び 認定証授与式を開催します

「清流の国ぎふ」文化祭2024では、文化芸術を用いることでウェルビーイングを高める、「文化的処方プログラム」を実施します。

「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会では、文化的処方を実践する「文化リンクワーカー」の育成を進めており、この度、第10回文化リンクワーカー育成プログラム講座を開催します。

また、文化リンクワーカー研修生が、全10回の育成プログラム講座を修了するため、講座後に認定証授与式を行います。

記

- 1 日時 令和6年6月30日（日）13:00～16:00
- 2 場所 OKBふれあい会館 第1棟 3階 301中会議室
(岐阜市藪田南5丁目14-53)
- 3 講師 共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点プロジェクトリーダー
東京藝術大学 社会連携センター 教授 伊藤^{いとう}達矢^{たつや}氏
- 4 内容
 - ・第10回育成プログラム講座 13:00～15:30
 - (1) これからの活動について
 - (2) 文化的処方に関するグループワーク
 - ・認定証授与式 15:30～16:00
 - ※講師 伊藤 達矢氏から贈呈
- 5 参加者 文化リンクワーカー研修生 14人（予定）

文化的処方プログラムについて

▶文化的処方

「文化的処方」とは、「社会的処方」を援用したもの。健康といったところに医学的な療法で治療を求めるように、同じように文化芸術を用いることでウェルビーイングを求めるもの。

※「社会的処方」とは身体的健康のみならず、精神的及び社会的に健康であることのために、薬ではなく、社会との繋がりを専門人材であるリンクワーカーが医療機関等と連携し必要とする者に処方する仕組みで、主にイギリスなどで行われている。

▶文化リンクワーカー

「文化リンクワーカー」は、一人ひとりの状況に応じた「文化的処方」を提示し、他者と共に楽しむ居場所や出番に橋渡しすることで社会参加を促す人々。

▶文化的処方プログラム

文化的処方を実践する文化リンクワーカーを育成し、「清流の国ぎふ」文化祭2024の期間中に文化祭会場を活用した文化的処方を実施するプログラム。

共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点の概要

福祉・医療・テクノロジーと融合したアートコミュニケーションによる誰もが「自分らしく」いられる共生社会の実現を拠点ビジョンとした東京藝術大学を代表機関とする機構。岐阜県をはじめ、複数の自治体や企業が参画している。

「清流の国ぎふ」文化祭2024の概要

- 1 正式名称 「第39回国民文化祭」 「第24回全国障害者芸術・文化祭」
- 2 統一名称 「清流の国ぎふ」文化祭2024
- 3 キャッチフレーズ とともに・つなぐ・みらいへ ～ 清流文化の創造 ～
- 4 基本方針 (1) 「清流の国ぎふ」の文化力を結集・発信
(2) 次世代を見据えた文化芸術の創造
(3) 文化芸術で人が輝く共生社会の実現
(4) 国民文化の大交流の実現
- 5 会 期 令和6年10月14日(月・祝)～11月24日(日)〔42日間〕
- 6 主 催 者 岐阜県、文化庁、厚生労働省 等